

ございます

年頭にあたり

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

健やかで希望に満ちた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中は町政運営にあたりまして様々な面でご支援、ご協力をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、国では「改革なくして成長なし」、「民間にできることは民間に」、「地方にできることは地方に」との方針のもと、郵政民営化の着実な実施、政策金融改革、総人件費改革、資産・債務改革等を通じて「小さくて効率的な政府」を実現するとともに、規制・金融・税制・歳出等の改革を推進するなど、各分野にわたる構造改革を断行することにより経済活性化を実現し、民間需要主導の持続的な経済成長を図るとしております。

本町におきましても、長らく続いた景気低迷から脱却し、民間企業の業績が上向き、財政状況も好転の見通しではありますが、長期的な視野に立って「持続性ある発展を支える上三川の改革」を指針に掲げる上三川町行政改革大綱に基づき、地方分権の時代にふさわしい有効性・効率性・経済性等を追求した町行政システムの確立を目指し、さらなる行政改革を着実に推進していく所存であります。

こうした状況の中で、平成18年度よりスタートしました10年間の「上三川町第6次総合計画」における将来像『より安心・安全で活力のあるまち 上三川』の実現に向けまして、次の3つの基本理念のもと各種の政策・施策を推進して参ります。

第1に「安心・安全のまちづくり」ですが、健康福祉・教育文化を重視した、だれもが元気で安心して暮らせるまちづくりを進めるとともに、生活環境整備、基盤整備を行い、自然と共生し、災害や事故のない、安全なまちづくりを進めます。

第2に「活力のあるまちづくり」ですが、地域特性・資源や交通立地条件を生かし、活力に満ちた産業のまちづくりを進めるとともに、多くの人々が集う、交流あふれるまちづくりを進めて参ります。

第3は、町民のみなさんと行政がともに考え、ともに行動する協働のまちづくりを進めるとともに、これに支えられた地方分権時代の自立したまちづくり、住民自治、人権尊重の「協働・自立のまちづくり」を進めていきます。

なお、特に少子高齢対策や教育問題などを今後の最重点課題と位置づけをし、子育て支援では、19年度の新たな施策として第3子以降の出産祝金や医療費の中学3年生までの無料化、不妊治療費の助成措置を講じ、学校教育では、適切な学級運営を図るための町単独での学級支援教員の配置等に取り組んで参ります。

また、20年度の早い時期には町民皆様の健康維持・増進を図る活動拠点の（仮称）総合保健福祉センターのオープンが予定されておりますので、これら公共施設の利用や主に高齢者の買物、通院等生活の足を確保するため、町内全域をエリアとする巡回バスの運行も計画して参ります。

町民の皆様と協働による活気あふれるまちづくりの推進に、これまで以上に最大限の努力をして参りますので、より一層のご協力と、ご支援をお願い申し上げ、年頭にあたりましての挨拶といたします。



上三川町長
猪瀬 成男

あけまして おめでとう

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健康で、希望に満ちた初春を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

私は昨年1月に議長に就任いたしました。この間、町民の皆様にはご支援とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

さて、昨年は国内外の政治、経済情勢に様々な変化がありましたが、とりわけ市町村にとりまして、最も大きな出来事は、市町村の合併でありました。

本年4月には、河内町と上河内町が宇都宮市との合併を予定しておりますので、河内郡は上三川町の1町が残るのみとなります。現在のところ、県内では17の町が単独の選択をしておりますが、地方分権の推進により、自治体の自主性がより一層求められる時代となっております。

こうした中、本町議会におきましても、17年に議会独自の組織として「行財政改革推進特別委員会」を設置し、議会組織の改革に取り組んでまいりましたが、この検討事項の中で、特に重要視したのは、町民皆さんの関心が高かった議員定数の見直しであります。

結果としましては、昨年12月の定例議会におきまして、議員提案により、次回の議員選挙から現行の定数20人を4人削減し、16人とすることに決定いたしました。

本町の法的な定数上限は26人ですが、過去に2回の定数改正を行い、現在の20人に至っています。議会は議決機関として政策の最終決定機関であり、また、執行機関に対して監視機能を担っておりますので、財政規模と審議機能等を勘案いたしまして見直しをした次第であります。

これから、町は自主独立の道を歩んでまいります。克服すべき多くの課題があり、社会生活の多様化によりまして、行政需要はますます増加していくものと思われま。

私ども議決機関といたしましては、より豊かな住みよい町づくりと、町民の皆様のご期待に応えていくよう更なる努力をしていく所存でありますので、どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



上三川町議会議長
生沼 浩

